

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長	小川 充則
健福-57	実施事業	体育施設管理運営事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 スポーツ課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

対象	市民等	・市民の誰もが「いつでも」「どこからでも」スポーツ施設の予約や抽選、空き状況の確認ができるよう、神奈川県公共施設利用予約システムの適正な運用を行った。 ・市民が身近なところで、気軽に参加でき、また、自ら主体的にスポーツ・レクリエーションが行えるよう、場の提供を行った。 ・指定管理者制度により、スポーツ施設の効率的な管理運営を行った。 ・PFI事業で整備した、こもれび山崎温水プールを同事業を活用して市民の利用に供した。
意図	市民等がスポーツ施設で気軽に楽しむことができるよう、スポーツ施設の適正な管理やスポーツに関する情報の発信を行うため。	
効果	より多くの市民等がスポーツ施設の利用が行えるように図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	226,172	231,508	当初予算(千円)	332,371		
	国県支出金			国県支出金	7,851		
	地方債			地方債	66,000		
	その他	2,598	2975	その他	4,988		
	一般財源	223,574	228,533	一般財源	253,532		
事業費運営	人員配置数	2.2	1	人員配置数	2.0		
	人件費(千円)	17,369	8,050	人件費(千円)	15,758		
	総事業費(千円)	244,276	239,558	総事業費(千円)	348,129		
	市民1人当りの経費(円)	1,384	1359	市民1人当りの経費(円)	1,973		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
	協働	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 事業の成果は概ね出ているので、事業内容、予算規模とも現状維持とし、更なる効果が得られるよう、手法の検討を行いながら、スポーツ施設の管理運営を行っている。施設の老朽化対策がある一方、PFI事業による(仮称)山崎地区屋内温水プール整備事業の契約期間満了に伴う公費負担の減を見込んでいる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・指定管理者制度の導入やPFI事業の活用によりにスポーツ施設等の管理運営をし、良好なサービスを提供している。 ・いつでもどこからでもスポーツ施設の予約等ができる公共施設利用予約システムを運用し、市民の利便性向上に寄与している。 ・老朽化している施設や設備については、市民が快適に利用できるよう適宜維持修繕を行うなど、管理運営に努めていく必要がある。	

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・深沢多目的スポーツ広場は、深沢整備用地の暫定利用として平成31年3月末まで借り受けているが、代替施設の確保が急務。 ・施設利用者のニーズに対応した施設の充実。 ・海浜公園水泳プールは、公共施設再編計画で総合体育館に併設すると示されたため、総合体育館の検討の中で進めていく。 ・施設の老朽化への対応や照明のLED化等の更なる推進が必要。 ・鎌倉武道館は天井の耐震強度が既存不適格の状態であるため、平成30年度に設計、平成31年度に耐震改修工事を実施する予定である。工事期間中は同施設を休場とするため、市民大会や教室等の開催場所を他の施設に振り替える等の対応が必要である。 ・平成32年1月末にPFI事業期間の終了を迎える、こもれび山崎温水プールの事業手法の検討が必要。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・企業グラウンドを借用し市民大会の会場を確保した。 ・鎌倉海浜公園水泳プールは築63年が経過し、建物・設備ともに老朽化が進んでいるが、仮設建物を賃借するとともに現状の施設を活用し、津波避難訓練や避難ルートの周知等を実施し、安全対策を講じながら運営を継続し、市民の利用に供した。 ・施設の老朽化対応修繕や照明のLED化は、予算の範囲内で着実にいった。今後も引き続き同様の対応をしていく必要がある。 	
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・深沢多目的スポーツ広場は、深沢整備用地の暫定利用として平成32年3月末まで借り受けているが、代替施設の確保が急務。 ・施設の老朽化への対応や照明のLED化等の更なる推進が必要。 ・平成31年度から平成32年度にかけて鎌倉武道館の天井の耐震改修工事を実施する予定であるため、市民大会や教室等の開催場所を他の施設に振り替える等の対応が必要。 ・平成32年2月以降のこもれび山崎温水プールの運営方法について決定する必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	体育館の整備状況						
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
他市実績	4	3	3	1	2	1	

比較事項	陸上競技場・野球場・屋外グラウンドの数						
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
他市実績	2	6	6	11	9	2	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<p>本市の体育館は、規模が小さく(バスケットボールなどは同時に複数の試合を行うことができない)、老朽化が進んでいるが、指定管理者の民間のノウハウを活用しながら教室やイベントの開催などのソフト面のサービスを充実させ、市民の満足度を維持していく。屋外グラウンド等については、県内他市の平均と比較して整備数が少ないため、スポーツ団体は市民大会等の開催に苦慮している実情がある。新規に整備できるまでは民間企業が所有するグラウンドの借受などで補えるよう、情報収集に努めていく。</p>
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉海浜公園水泳プール利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
	実績値	31,154	31,519	33,086	29,110	31,269	
	達成率	89.0%	90.1%	94.5%	83.2%	89.3%	

指標の内容	こもれび温水プール利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	187,500
	実績値	244,654	247,985	246,118	243,045	242,714	
	達成率	97.9%	99.2%	98.4%	97.2%	97.1%	

指標の内容	指定管理スポーツ施設利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	445,000	450,000	454,000	456,000	456,800	457,600
	実績値	451,957	391,953	427,533	456,592	453,154	
	達成率	101.6%	87.1%	94.2%	100.1%	99.2%	

指標の内容	指定管理スポーツ施設利用者数(内訳:鎌倉体育館)	単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	-	-	-	-	-	-
	実績値	134,132	66,339	132,363	151,799	146,415	
	達成率	-	-	-	-	-	-

指標の内容	指定管理スポーツ施設利用者数(内訳:大船体育館)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	74,953	79,563	69,164	75,979	84,337	-			
	達成率	-	-	-	-	-	-			
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用者数(内訳:鎌倉武道館)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	211,587	214,336	193,227	194,601	187,961	-			
	達成率	-	-	-	-	-	-			
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用者数(内訳:見田記念体育館)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	-	-	-	-	-	-			
	実績値	32,722	31,655	32,779	34,079	34,441	-			
	達成率	-	-	-	-	-	-			
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、施設の充足状況を客観的に捉えるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	92.0	82.9	89.0	88.2	88.8	-			
	達成率	92.0%	82.9%	89.0%	88.2%	88.8%	-			
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用率(内訳:鎌倉体育館)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、施設の充足状況を客観的に捉えるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	83.2	53.8	81.6	77.8	75.1	-			
	達成率	83.2%	53.8%	81.6%	77.8%	75.1%	-			
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用率(内訳:大船体育館)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、施設の充足状況を客観的に捉えるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	99.4	88.8	88.5	91.0	100.0	-			
	達成率	99.4%	88.8%	88.5%	91.0%	100.0%	-			
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用率(内訳:鎌倉武道館)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、施設の充足状況を客観的に捉えるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	94.4	93.6	92.5	93.6	93.0	-			
	達成率	94.4%	93.6%	92.5%	93.6%	93.0%	-			
指標の内容	指定管理スポーツ施設利用率(内訳:見田記念体育館)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
スポーツ施設の利用率を把握することにより、施設の充足状況を客観的に捉えるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	97.0	93.4	96.0	95.5	95.2	-			
	達成率	97.0%	93.4%	96.0%	95.5%	95.2%	-			
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利用率から概ね高い利用率であると捉えているが、鎌倉体育館の卓球室(59.6%)は他の部屋に比べて利用率が低いところもあるため、改善すべきと考えている。 ・スポーツ教室やイベントの充実を図るとともに、運動やスポーツをする習慣のない市民にきっかけ作りを働きかけることにより、市民のスポーツ実施率が向上し施設の利用者数、利用率ともに増加を目指す。 									